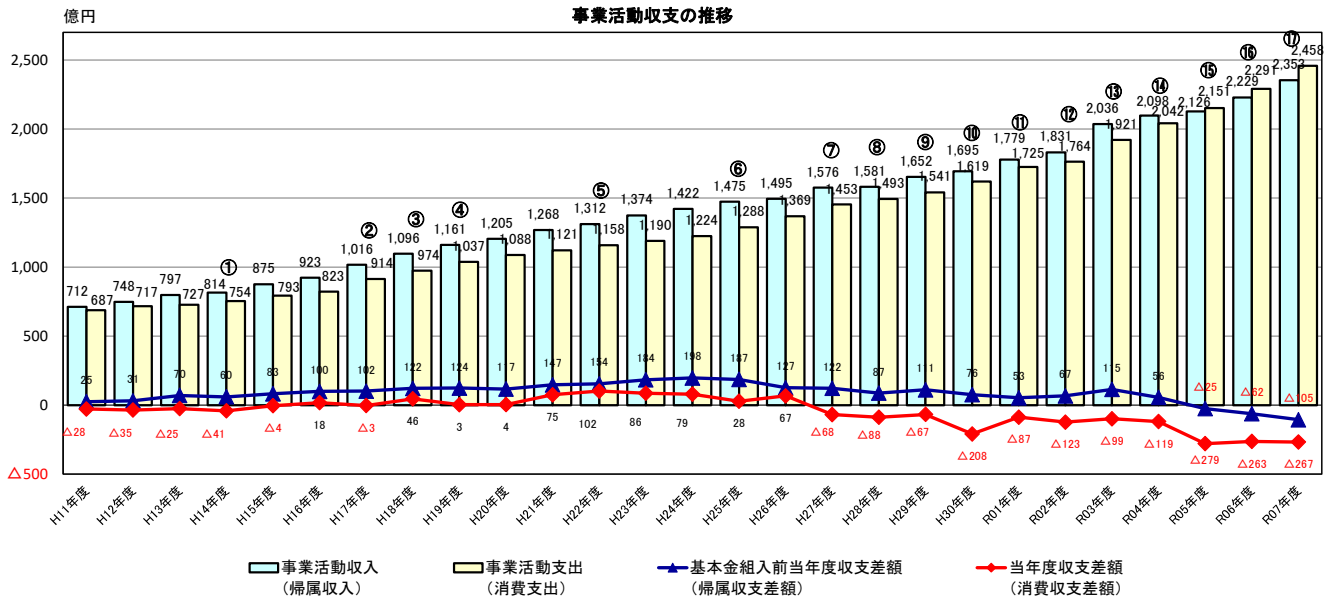


主な財務比率

1. 事業活動収支計算書			事業活動収支計算書関係比率			2. 貸借対照表			貸借対照表関係比率		
単位(百万円)			単位(%)			単位(百万円)			単位(%)		
科目		R07決算	財務比率		算出方法	資産の部		財務比率	算出方法		R07決算
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	15,037	人件費比率	人件費	34.6%	固定資産	265,799	固定資産構成比率	固定資産	74.3%	
	手数料	625		経常収入					総資産		
	寄付金	2,350	人件費依存率	人件費	539.3%	有形固定資産	238,827	有形固定資産構成比率	有形固定資産	66.8%	
	経常費等補助金	10,240		学生生徒等納付金					総資産		
	付随事業収入	7,237	教研経費比率	教育研究経費	64.3%	土地	61,513	特定資産構成比率	特定資産	4.4%	
	医療収入	195,119		経常収入					総資産		
	雑収入	3,196	管理経費比率	管理経費	2.9%	建物	135,107	流動資産構成比率	流動資産	25.7%	
	教育活動収入計	233,803		経常収入					総資産		
	事業活動支出の部	人件費	81,090	借入金等利息比率	借入金等利息	0.1%	特定資産	15,647	固定負債構成比率	固定負債	15.7%
		教育研究経費	150,540		経常収入					総負債+純資産	
管理経費		6,854	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	-4.5%	その他の有形固定資産	42,208	流動負債構成比率	流動負債	10.0%	
(減価償却額)		19,213		事業活動収入					総負債+純資産		
徴収不能額等		90	基本金組入後収支比率	事業活動支出	112.2%	その他の流動資産	46,019	純資産構成比率	純資産	74.2%	
教育活動支出計		238,573		事業活動収入-基本金組入額					総負債+純資産		
教育活動収支差額		-4,770	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	6.4%	流動資産	91,818	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額	-56.9%	
				経常収入					総負債+純資産		
教育活動外収支	受取利息・配当金	364	寄付金比率	寄付金	1.2%	現金・預金	45,799	固定比率	固定資産	100.1%	
	その他の教育活動外収入	0		事業活動収入					純資産		
	教育活動外収入計	364	補助金比率	補助金	4.6%	学校債	2,060	固定長期適合率	固定資産	82.6%	
	借入金等利息	233		事業活動収入					純資産+固定負債		
	その他の教育活動外支出	3	基本金組入率	基本金組入額	6.9%	流動負債	35,934	流動比率	流動資産	255.5%	
教育活動外支出計	236	事業活動収入		流動負債							
教育活動外収支差額		127	減価償却額比率	減価償却額	8.0%	その他の流動負債	31,185	総負債比率	総負債	25.8%	
				経常支出					総資産		
特別収支	資産売却差額	0	経常収支差額比率	経常収支差額	-2.0%	負債の部合計	92,205	負債比率	総負債	34.7%	
	その他の特別収入	1,141		経常収入					純資産		
	特別収入計	1,141	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額	-2.0%	純資産の部	基本金	基本金比率	基本金	99.7%	
	資産処分差額	41		教育活動収入計					基本金要組入額		
	その他の特別支出	6,973	【参考】		科目	R07決算	第1号基本金	451,712			
特別支出計	7,015	事業活動収入計	235,308	事業活動収入計	235,308	第2号基本金	77				
特別収支差額		-5,873	事業活動支出計	245,824	事業活動支出計	245,824	第3号基本金	0			
基本金組入前当年度収支差額		-10,516			翌年度繰越収支差額	-203,477	第4号基本金	17,099			
基本金組入額合計		-16,176			繰越収支差額	-203,477	繰越収支差額	-203,477			
当年度収支差額		-26,692			翌年度繰越収支差額	-203,477	純資産の部合計	265,412			
前年度繰越収支差額		-176,785			負債及び純資産の部合計	357,617	負債及び純資産の部合計	357,617			
基本金取崩額		0									
翌年度繰越収支差額		-203,477									

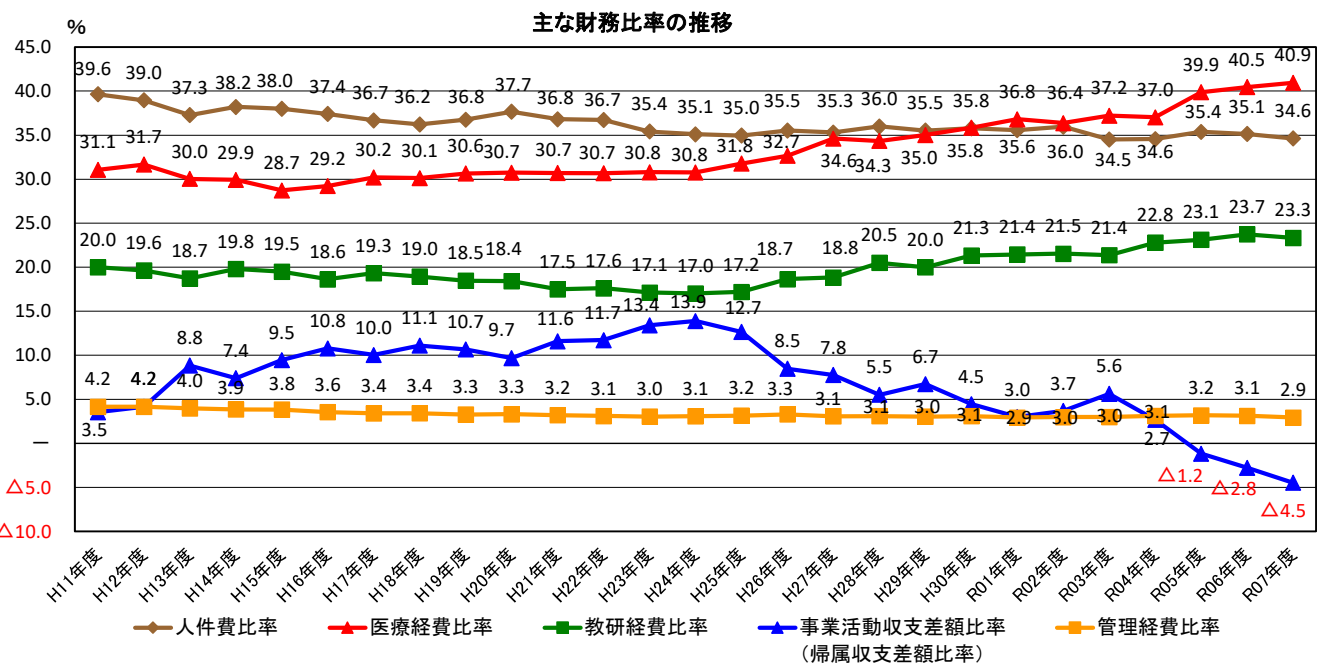
※ 金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

24. 財務状況の推移



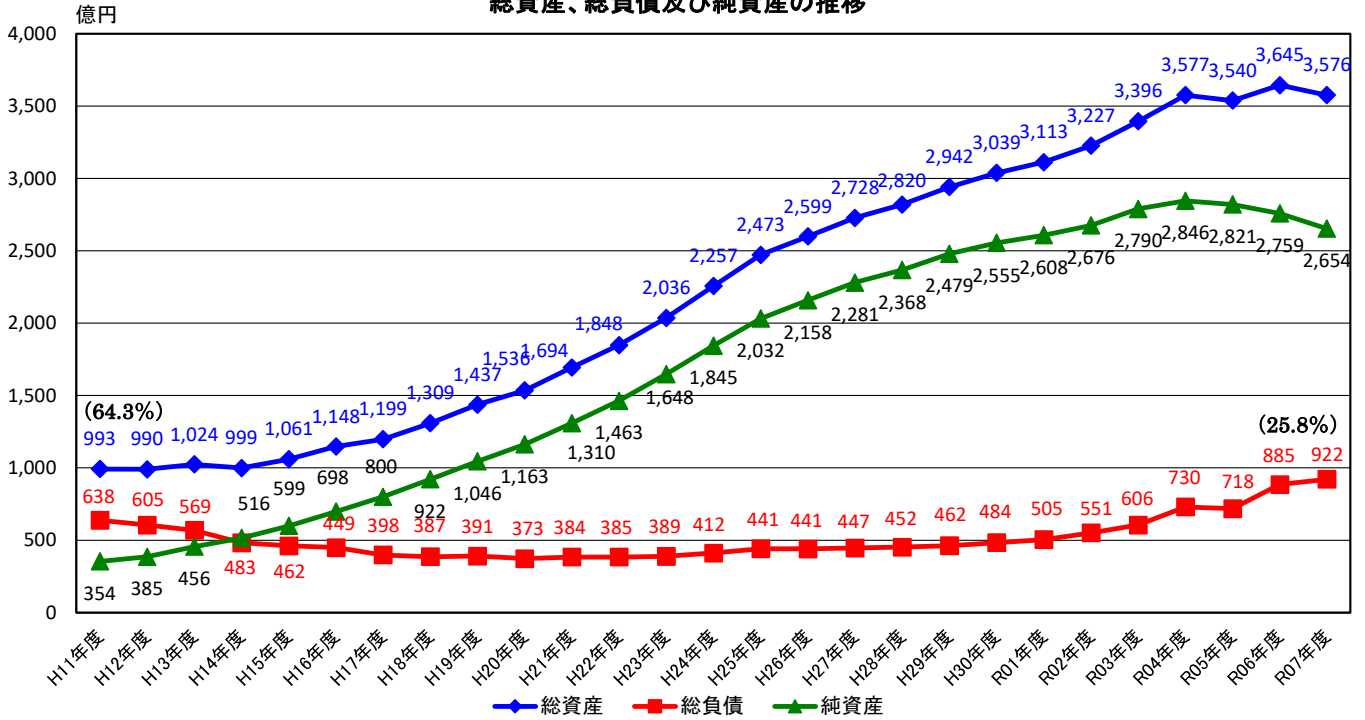
教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。

①平成 14 年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院 ②平成 17 年度 練馬病院開院 ③平成 18 年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工 ④平成 19 年度 スポーツロジックセンター設立 ⑤平成 22 年度 保健看護学部開設 ⑥平成 25 年度 順天堂医院 B 棟 I 期竣工 ⑦平成 27 年度 国際教養学部開設 ⑧平成 28 年度 順天堂医院 B 棟 II 期・C 棟竣工、さくらキャンパス新体操競技場・新女子寮竣工、高齢者医療センター増床 ⑨平成 29 年度 浦安病院 3 号館竣工 ⑩平成 30 年度 新研究棟 (7 号館) 竣工 ⑪令和元年度 保健医療学部開設、練馬病院 3 号館竣工 ⑫令和 2 年度 新研究棟 (7 号館) II 期竣工、さくらキャンパス新講義棟・新女子寮竣工 ⑬令和 3 年度 浦安・日の出キャンパス 1 号館及び体育館竣工 ⑭令和 4 年度 医療科学部開設 ⑮令和 5 年度 健康データサイエンス学部開設、浦安・日の出キャンパス 2 号館竣工、さくらキャンパス第 3 体育館竣工、三島キャンパス新講義棟竣工 ⑯令和 6 年度 薬学部開設、浦安・日の出キャンパス 3・4 号館竣工、静岡病院 H 棟 II 期竣工、⑰令和 7 年度 越谷病院新病棟建設を進行



平成 27 年度に学校法人会計基準が改正されたため、事業活動収支差額比率を除く各比率の分母は、26 年度以前が帰属収入 (新基準の事業活動収入)、27 年度以降は経常収入となっています。令和 7 年度は医療経費が増加したため、事業活動収支差額比率は低下しています。

総資産、総負債及び純資産の推移

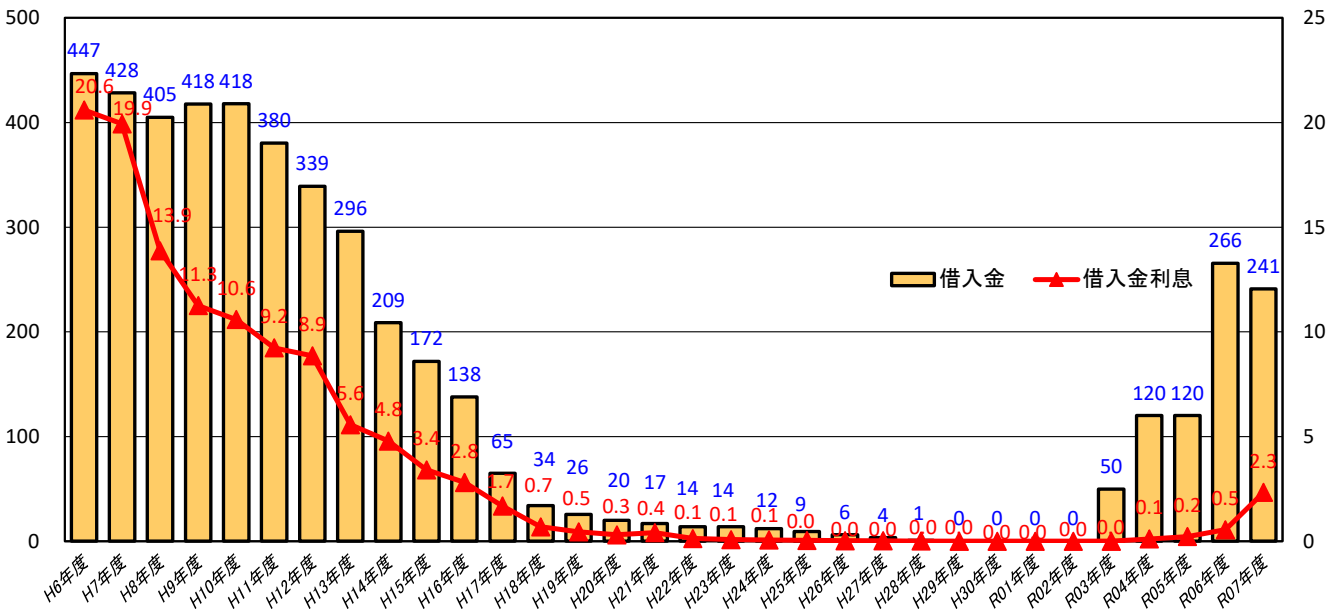


平成5年に竣工した順天堂医院1号館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度までは総負債が純資産を上回っていました。その後は有利子負債の返済を前倒しで行いつつ、施設・設備の拡充を自己資金で行いながらも、令和4年度まで堅調な事業活動収支差額（帰属収支差額）を維持してきました。総負債比率（総負債／総資産）は平成11年度には64.3%でしたが、令和7年度は25.8%となりました。

借入金残高
単位：億円

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

借入金利息
単位：億円



総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。直近では新学部設置や越谷病院新病棟建設の施設設備の充実を目的とし、金融機関から借入れを行なっています。

この事業報告書に附属明細書はありません